

皆さん、あけましておめでとうございます。

私たちは、労働組合や中小業者、農民、女性、青年、医療、法律団体などで作る「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。いま、安倍政権による憲法9条などの改憲を許さず、憲法が生きる社会をめざそう、改憲発議に反対する全国緊急署名に取り組んでいます。ご協力をお願いします。

新しい年を迎えました。2020年は、世界じゅうの人々が平和に暮らせる年であってほしいと願います。今年は、オリンピック・パラリンピックも開かれます。国連総会では、先月、「五輪休戦決議」が全会一致で採択されましたが、「どんなときも選手第一、政治を介入させてはいけない、国や人のためではなく自分のためにスポーツをする、そして、スポーツは人権」というオリンピック精神が発揮される大会として成功してほしいと期待します。

2020年、今年こそ、平和な社会、そして、誰もが一人一人大切にされる社会、日本国憲法が実現される社会に向かって、大きく踏み出す年になればと思います。今年も、よろしく願いいたします。

ところが、みなさん、

安倍内閣は、自衛隊の中東派兵について年末のどさくさに閣議決定し、実施しようとしています。今回の自衛隊派兵について安倍内閣は、防衛省設置法に基づく「調査・研究」であり、「有志連合」への参加でなく「独自の取り組み」だとしています。しかしこの派兵は、アメリカによるイランへの軍事圧力を助けるために行なわれるものであり、中東の軍事的緊張を高めることは必至です。そのような危険性のある自衛隊派兵を、国会審議にかけることもなく閣議決定で行なったことは断じて許されません。

私たちは憲法の原則を破っておこなわれる中東への自衛隊派兵について断固反対し、中止を求めます。

みなさん

昨年12月9日に閉会した200回臨時国会は、政権私物化の安倍政権を追い詰めるたたかいの場となり、憲法審査会において自民党の改憲案提示を今回も許さない到達点を築きました。

共産党の質問に端を発した「桜を見る会」問題は、立憲野党全体で共有され、共同のたたかいに発展し、きたる総選挙での野党共闘の展望が示されるものとなったこととしても重要です。

「桜を見る会」疑惑で追い詰められた安倍首相は、野党が要求する予算委員会、閉会中審査の開会を拒否し続け、問題を「桜を見る会の見直し」一般論にすり替え、追及を逃れようとしています。しかし、どのメディアの調査でも、首相の説明に納得していないと答えた国民は7割にのぼり、直近の世論調査でも安倍内閣に対する不支持が、支持を大きく上回っています。政治と税金の私物化、証拠隠蔽、公文書破棄、国会軽視、ウソだらけの答弁、許せるはずがありません。国民は怒っています。立憲野党は、ますます結束を強めています。追及の手を緩めていません。きたる通常国会で、「桜を見る会」問題の真相を徹底究明し、安倍内閣を退陣に追い込もうではありませんか。

みなさん

いっぽうで憲法9条をまもるたたかいは引き続き緊迫しています。

臨時国会で与党は憲法審査会を動かし、隙あらば自民党の改憲条文書の提示を狙っていました。そし

て、その前段として、憲法審査会での国民投票法改正案の審議・採決を求めました。それに対して、野党は国民投票法を改正するというのならば、CM規制問題などを審議するべきと求めましたが、与党は拒否したままでした。

結局、昨年の通常国会、臨時国会を通じて、憲法審査会で自民党改憲条文案の提示、改憲論議を許しませんでした。この成果を勝ち取ることができたのは、「安倍政権下での改憲反対」の世論の力です。全国各地で取り組まれた安倍改憲反対の全国3000万人署名運動の広がりが大きな力となりました。皆さんの一筆一筆の署名が、安倍首相の勝手な改憲を押しとどめています。本当に、ご協力ありがとうございました。

しかし、みなさん

安倍首相は改憲を諦めていません。

昨年12月の臨時国会閉会日の会見で安倍首相は、「必ずや私の手で改憲を成し遂げていきたい」と執念をみせ、自らの自民党総裁任期の2021年9月までに実現すると決意を語りました。

この安倍首相がめざす改憲スケジュールからみて、改憲をめぐるたたかいはいよいよ最大の山場にさしかかっています。2020年の通常国会と臨時国会で「改憲発議」を許すかどうか、さらに2021年通常国会会期中に安倍改憲「国民投票」を許すかどうかの正念場になります。

いまこそ、安倍改憲に反対するすべての人々が共同し、全国の草の根から声を上げ、世論を盛り上げることが求められています。総選挙では、安倍改憲に反対する野党と市民がしっかりと手をつないで、改憲派を徹底的に孤立させなくてはなりません。

この新しい段階に入った安倍改憲策動に対し、総がかり行動実行委員会と全国市民アクション実行委員会は、これまで取り組んできた3000万人署名にかえて、あらたに「安倍9条改憲反対！改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけました。新たに、うじきつよしさん、岡野八代さん、前川喜平さん、北原みのりさんたちも、呼びかける署名です。

「戦争だけはいやだ」という声を「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」に寄せていただき、安倍改憲NOの声を大きく示そうではありませんか。そして、「二度と戦争しない」と決めた憲法9条を守り、憲法が生きる社会を実現しましょう。今年も、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。